

ふるさと夢とやま

巻頭特集

農業と農村がピンチ!

～私たちの生活は大丈夫?～



ふるさとラオッチング

滑川市 中加積地区

たすねてみよう、棚田のあるまち

南砺市・砺波市 いちおし編

トビックス

とやまの直売所

カモ親子の農村日記

上市川沿岸用水

とやま帰農塾2011

とやまの農村漁村の魅力

地域づくりレポート ● 射水市南高木

インフォメーション ● 第7回とやまの棚田写真展 開催報告

富山市 山田

冬に咲くとやま啓翁桜

毎年1～2月に花を咲かせる啓翁桜。山田花木生産組合のみなさんの手によってひとつひとつ手作業で箱詰めされた桜は、多くの人々に一足早い春の訪れを教えてくださいます。

自然環境をはぐくむ

水田に蓄えられた農業用水や雨水は、地中にしみ込んで地下水や川の水源になります。また、農業用水を利用した環境にやさしい水力発電が行われています。農業用の水路や水田には、無数のさまざまな生き物がすんでいます。



県土をまもる

水田は雨水を溜めて、河川に流れる量を調整する役目をしたり、洪水を防いだりしています。山間地の棚田などが整備されることで、地すべりや土砂崩れを防いでいます。



人々をいやす

田んぼや水路、ため池など、美しい農村の環境は、私たちに安らぎをあたえてくれます。また、農村では豊作を願ったり感謝する祭りの文化が伝えられてきました。



生活環境をささえる

農業用水は、火災のときの消火用水として、冬には生活をささえる流雪水路として活躍します。

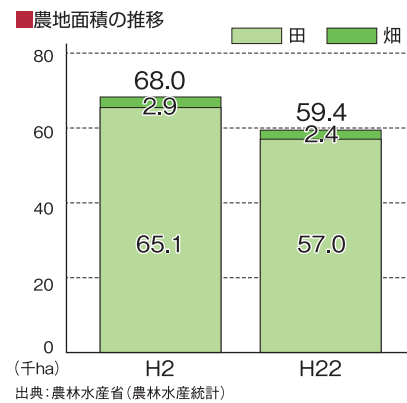


農業や農村がもつ多面的な機能
 農業が営まれることや、それを支える土地改良施設が適切に維持・保全されることは、安定した食生活を私たちにあたえてくれるだけでなく、次のような恩恵をもたらしてくれています。

農業・農村をとりまく現状

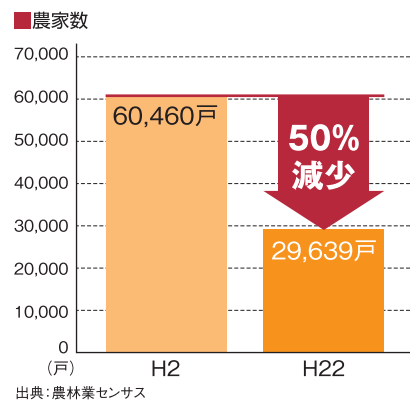
問題③ 農地面積の減少

富山県ではこの20年間で、農地面積が1万haも減少しました。さらに耕作放棄地は近年、平場地域でも増加してきています。



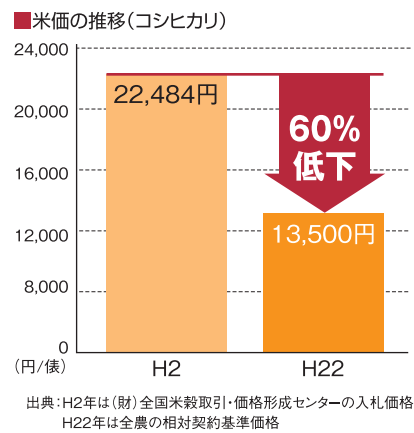
問題② 農業就業者の担い手不足

総農家数は平成2年の約半分に減少しています。さらに農業就業者の減少と後継者不足、担い手の高齢化がすすんでいます。



問題① 農作物価格の低迷

農作物価格の低迷や、さらに産地間競争が激化するなど、多くの課題を抱えているのが現状です。



農業や農村が健全な状態でなくなると、将来、**食料不足になったり**、農業や農村のもつ**多面的機能が失われたり**する恐れがあります。

巻頭特集 農業と農村がピンチ!

～私たちの生活は大丈夫?～

私たちの“安全と安心”は、農業や農村から広がっています。

私たちの食料の生産をささえている、農地と、農業用水などの土地改良施設。これらがきちんと整備されてこそ、食料生産が成り立ちます。



土地改良事業とは

農業の生産性向上を目的とした、農地や農業用水、農道などの農業生産基盤の整備を行う事業です。

この事業は、地域の同意と事業の費用負担があることが特徴で、地元からのニーズがあつてこそ実施される事業です。ここがほかの公共事業とは大きく異なる点です。

事業の費用は、事業の実施主体や種類に応じて、国の負担や補助に加え、都道府県、市町村や受益農家が、応分の負担をしています。

申請事業ともいわれているんだ

農家の代表 (15人以上) = 受益農家の同意

申請

国・県

事業実施

土地改良事業のしくみ

食をささえる農業と農村

農業は、米など私たちの大切な食料を供給する重要な産業であり、農村はその生産を行う場所として大変重要な役割をになっています。

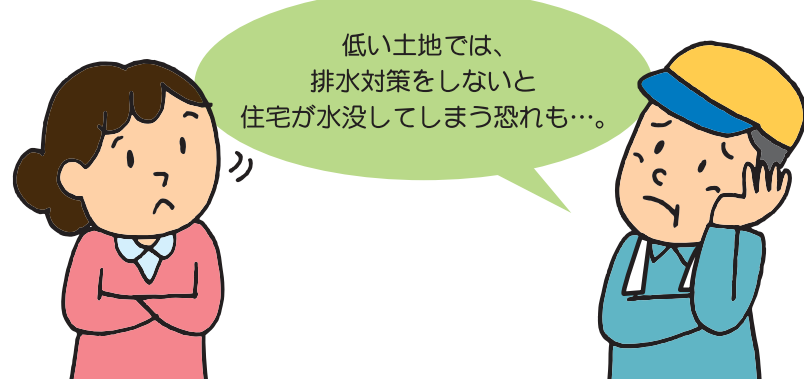
また、米や野菜の生産に欠かすことのできない農業用水は、農村を網の目のように張りめぐらされた水路を通して、田んぼや畑に届けられるとともに、防火用水や流雪用水など地域の日常生活に深く関わっています。

春には一面の田んぼに水が張られ、「おたまじゃくし」などの生き物が生き生きと活動し、秋にはたわわに実った稲穂が黄金色に輝いており、農村はまさしく日本人の「心のふるさと」であり、今後とも守っていかねければならない大切なものなのです。

農業や農村は国の基本であることを再認識しましょう。

3 | 農村の防災

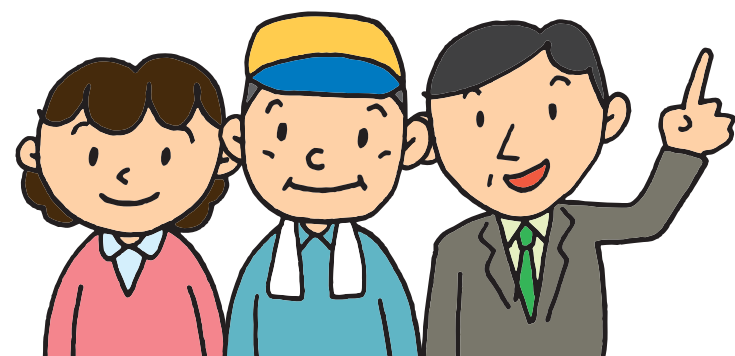
農業用の排水路や排水機場などの土地改良施設は、農地だけでなく私たちの生活している場所も、浸水などの水害から守っています。今後も私たちが安心して暮らしていけるよう、計画的な整備と適正な管理を行うことが求められています。



このように多くのニーズがあるにもかかわらず、国の土地改良事業予算は大幅に減少してきています。

しかし、この限られた予算の中で、私たちの食料を安定して供給できるように農地の整備を続けていくことが必要です。

また、農業用の水路や排水機場などの施設も、これまでのような全面改修だけでなく、補修や補強などによる施設の長寿命化を積極的に進めることが必要です。また、田んぼのまわりの小さな水路については、集落ぐるみの活動により保全・管理していくことが大切です。



守りたい—
先人たちが築いてきたものを
農業・農村が食料供給はもとより多面的機能を末永く発揮できるよう、農業に関わる人たちだけでなく、私たち地域の人々みんなの理解と協力でささえていきましょう。

農業を続けるための、 地域からの ニーズ



1 | 田んぼの整備

農業の担い手を育成し、効率よく農業を営むために、大型機械の導入を可能とする大区画化や、米のほかにも麦・大豆などが生産できるよう農地の排水対策の強化が求められています。

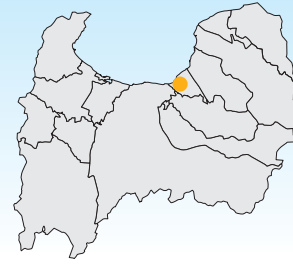


2 | 水路の整備

県内の農業用排水路などの農業水利施設は、昭和30年代から40年代にかけて整備されたものが多く、老朽化が進んでおり、今後耐用年数のピークを迎えます。そのため、計画的に補修・更新を行い、水路等を末永く維持・保全することが求められています。



富山県農村環境創造基金
ふるさと
ウォッチング



滑川市

なか か づみ

中加積地区

田園の恵を生かす

中加積地区は県下に先がけてほ場整備が進んだ立山を間近で眺めることが出来る緑豊かな田園地域です。そこに住宅団地が造られ混住化が進んでいきました。地域人口が増え小学校がパンク状態になるなどの社会問題が起きてきたのです。そこでPTAなど地区内の団体が集まり地域作りを考えることになりました。子供たちを前面に出して新旧の住民が交流する機会を企画したのです。そのなかで大切な活動についてお話したいと思います。

たんぼにおえかき

平成18年から今年で5回目となった「たんぼにおえかき」は、子どもから大人まで農業経験のない人も参加できる身近な自然体験です。平成22年は、大正もちと古代米(むらさき大黒、黄苗)の稲を使って、ゲゲゲの鬼太郎のキャラクターに挑戦しました。裸足になって田んぼに入り、ひんやりした泥の感覚に触れます。稲が生長すると、浮かび上がったたんぼアートを目で見えて楽しみ、刈り取ったお米で餅つきをして味で楽しめます。作業機械は出来るだけ古いものを使うので、食育・食農教育に結びつく農業、農村の活動体験ができます。また、この田んぼを見に地区外から訪れる人



▲昨年話題となったゲゲゲの鬼太郎がテーマに。



▲平成19年度はミッキーマウス。

4世代交流ドロンコ運動会

子ども達を大自然の中へ連れ出して、夢と希望を与えることを目的として、平成21年から開催され、2回目となった22年度のドロンコ運動会は、前回よりも出場者が増えました。自然の中で衣服が汚れるのも気にせずに泥んこになることは農村でしか味わえない体験です。パン食い競争や宝さがし、泥んこサッカー、そりレース、綱引きなどを通して出場者や見学者からは大きな歓声と笑いが起こり、楽しい運動会となりました。賞品には、実行委員やボランティアの人が育てた採れたての野菜や、滑川市民交流プラザにある、『あいらぶ湯』の入浴券が贈られました。



▲つきたてのお餅は老若男女問わず大好評。



▲大人も子どももみんなドロンコに。

農業体験を通して

緑豊かな純農村が持つ自然の景観の中、四世代通しての活動に子供たちを引き出し、虫や魚や植物に触れさせ、田んぼや生活用水やそこに住む私たちの関わりなどについて知ることが出来ることで、優しい心を育み、協調と融和のある地域になってくれればと思います。



▲泥の感触を存分に感じながら田植えを体験!



▲自分達で植えた稲を刈り取るのも大きな喜びに。



▲平成20年度はドラえもん。

民話の舞台を訪ねてみませんか?

「川原坊主がくれた宝」

堀江村の南を流れる上市川に、川原坊主という恐ろしい化け物が住んでいました。すると、いつか人や動物のはらわたを抜き、食べるという化け物です。ある日の夕方、五左衛門という、年老いた百姓さんが、馬の体を上市川で洗っていると、急に用事を思い出して、馬を橋げたにしばらく家に戻りました。すると川原坊主が、馬が逃げないように自分の左手にたづなを巻きつけて馬の尻に爪をつきたてました。「ヒヒヒーン」馬はあまりの痛さにびびりて飛び上がる、たづなを巻きつけていた川原坊主の左手が「スポーン」と抜けてしまいました。馬は川原坊主の毛むくじらの手を引きずりながら家に戻りました。これを見たおじいさんは、「あっ、これは川原坊主の手だ。馬のたづなは川原坊主の手だ。馬のたづなはわたしのぬこうとして失敗したな」と言い、大変珍しいので床の間に飾りました。この夜から、左手のない川原坊主が手を返してくださないと毎日来ました。返してくれればケガが治る「アイス」と云う薬をあげますと頼むので、手と交換してやりました。これをけずって粉にして傷の処にぬるとたちどころに治りました。おかげで五左衛門さんの家は大金持ちになり、川原坊主もそれから悪いことをしなくなり上市川でとれた鮭やますを持ってきて、五左衛門さんの家の前につるしていったということです。



堀江の民話

棚田に行こう!



あさんたに 浅谷 (砺波市)

国道359号線「三合」の信号で東別所(梅檀山)を目指し東へ折れる。約2kmの所にある和田川を横断し、すぐ右に曲がる。「浅谷」集落の西側に、明るく緩やかな棚田が広がる。



はらの 原野 (砺波市)

寺尾温泉から、夢の平スキー場へ向かって正面の高台が「原野」の棚田。まとまった棚田の急な道路は舗装され、明るい雰囲気。反対側にあるスキー場への道からがビューポイント。



しょうかわ まち おとし 庄川町落シ (砺波市)

国道156号線の小牧ダム手前、国道471号線の庄川橋を渡り左へ。2つ目の集落が「落シ」。道路下に小規模で管理された棚田がある。棚田写真展入賞の作品もここから生まれている。



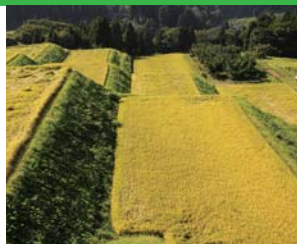
どやま 土山 (南砺市)

「ぬくもりの郷」を目指す。医王トンネルを抜け約1kmを左折し県道の下から土山方面へ。土山御坊跡の案内板を能美方面へ左折すると土山集落。ぬく森の郷から「殿様街道」を西へ行き、能美からも行くことができる。



おまた 小又 (南砺市)

医王トンネルを抜け「ぬくもりの郷」の反対山側の「医王山方面」の看板を左折。急坂道の途中は全て棚田で、ブロックを積み重ねたような田んぼが出現。田差が大きいことで知られる。



こうじょうじ 香城寺 (南砺市)

イオックスアローザスキー場の看板を目当てに進み、入口看板から北側へ約1km行くと棚田が広がる。民家もなく10数枚の棚田が重なって見える景観は圧巻。雪の季節もまた素晴らしい。



くるす 来栖 (南砺市)

国道304号の梨谷トンネルを過ぎてすぐ、駐車場とトイレがある「人形山」展望台がある。国道を挟んで南側の高台が来栖。国道上小来栖から遠目に見れば、山を背景に「天空の棚田」として見えそう。



あいのくら 相倉 (南砺市)

世界遺産合掌五箇山の代表地「相倉」。駐車場の遊歩道をしばらく歩くと展望台がある。合掌集落も有名だが、オーナー田として、またとれた米は「世界遺産米」ブランドでも売り出し中。



おすすめ農産物直売所

棚田を訪ねた後は、朝採れの新鮮な野菜を提供してくれる地域の農産物直売所にぜひ立ち寄りてみよう! 春は山菜がおすすめ。

1 せんだん山特産の店

【井栗谷JAとなみ野旧寺尾支店前】

営 4月～11月 / 土・日曜10:30～15:00

山のお父さん達を中心となり、朝採れの新鮮な山菜、一般野菜、加工品などを提供。



2 梅檀野産直野菜直売所

【福岡JAとなみ野旧梅檀野支店跡】

営 5月～12月 / 水曜9:30～14:30

地元組合員が作った野菜を中心に、春は山菜や野菜苗も販売している。



3 いのくち市

【井口持掛谷ゆ～ゆランド花椿前】

営 6月～11月 / 日曜13:00～17:00

新鮮な野菜、果物、花などを提供するとともに、新たな特産品開発にも取り組んでいる。



4 ふとみぼれ

【嫁兼太美山公民館前】

営 4月～12月 / 9:00～12:00

野菜や豆類の他、山菜類やハーブ入りばた餅、遊休品等、アイデア商品も人気。



5 まいどさん

【砂子谷JA福光フレッサ店前】

営 6月～12月 / 土・日曜8:30～12:00

野菜や果物、花、加工品、乾物の他、銀杏加工品、野草を使った健康野菜も数多く販売。



6 ぬく森の郷直売所

【小又ぬくもり郷内】

営 通年 / 9:00～17:00

温泉施設「ぬく森の郷」に併設された直売所。新鮮な野菜や山菜、果物などが数多く並ぶ。



7 ヨツテカーレ城端

【立野原ヨツテカーレ城端店内】

営 通年 / 10:00～19:00

東海北陸道路のサービスエリアからも直接出入りできる、観光型の直売所。



8 ふれあい市の会

【利賀坂上 そばの郷】

営 6月～11月 / 土・日曜10:00～15:00

山菜、そば加工品、おもちなどを中心に、お土産としても人気がある。



9 みどり市

【利賀岩淵バス停横】

営 6月～11月 / 土・日曜8:00～17:00

山菜を中心に、山の里ならではの赤かぶや白爵かぼちゃなどがおすすめ。



※さらに詳しい情報は、農業普及の窓(砺波農林振興センター)ホームページの農産物直売所をご覧ください。 [農業普及の窓](#) [検索](#)

たずねてみよう 棚田のあるまち

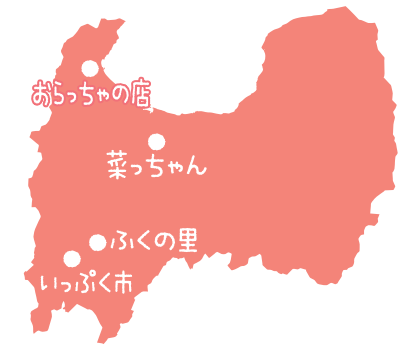
南砺市・砺波市 いちおし編



●は、左上ページにて紹介してある棚田とは別に、おすすめの棚田となります。ぜひ足を運んでみてください。

新鮮・安全 とやまの直売所

生産者の顔が見える農産物を手頃な価格で購入できる「直売所」は、わたしたちの住む富山にも数多くあります。新鮮な食材に触れながら、安心がもつ意味をぜひ体感してみてください。



※前回のNo26号では呉西編を紹介しています。こちらにもぜひ足を運んでみてください。

なんと一福茶屋 いっぶく市



農産物直売所「いっぶく市」は、旬の野菜はもちろん、五箇山豆腐や福光のどじょう焼といった特色ある商品を揃え、手作りかごバッグなどの工芸品も並ぶ。『道の駅 福光』内にあるので、ドライブ中ちょっと一服しては？

★おすすめ人気商品★



- ぎんなん/ぎんなん真空ポイル ぎんなんあさりこころもち 400円/380円/525円
- たいら牛乳200ml/あんドーナツ 140円/126円
- ふく柿 950円(150g)

“銀杏の里”と呼ばれ、11月には「ぎんなんフェスタ」が催される福光。すぐに使えるポイル済みもあるので料理に便利。

他にないコクがあると評判の「たいら牛乳」は瓶の返却で30円戻ってくる。今や五箇山名物の羽馬製菓の「あんドーナツ」は1日50個限定。

360年前から作られている干柿は福光を代表する特産品。肥料や製法にこだわった「ふく柿」は贈答にも喜ばれるふるさとの味だ。

店舗データ
所/南砺市中/江21 道の駅福光内
Tel/0763-52-4100
営/9:00~18:00
休/無

旬彩市場 ふくの里



店内の壁に並んだ生産者の顔写真に見守られるように、多くの野菜や花類、加工品が並ぶ「ふくの里」。干し茄子やずいきなどの乾物も充実。昔ながらの味を若い世代にも知ってほしいと、参加無料の伝承料理教室を不定期で開催している。

★おすすめ人気商品★



- アイスプラント 150円
- いもがい餅 280円
- こりもち/揚げ寒餅 380円/300円

塩水を与えて栽培することで、そのままでも塩味がする話題の野菜。生で食べるのがお薦めだが天ぷらやみそ汁、パスタに使っても美味。

小豆・きな粉・ゴマのおはきは、餅米やコシヒカリ以外に特産の里芋が混ぜてあるところがポイント。後味にほんのり芋の香りが漂う。

福野産の新大正餅をつき寒風で乾燥させた保存用の寒餅。パプリカやヨモギ、ウコン、黒砂糖の天然色素で優しく安全な味わい。

店舗データ
所/南砺市福野軸屋23-4
Tel/0763-22-1147
営/8:00~13:00(※時節によって変更あり)
休/年末年始のみ

おらっちゃんの店



“おらっちゃん”（私たち）という店名のとおり、お店の建築から置いてある食材の生産、経営まで、全て地元会員が力を合わせて携わっている直売所。店内には簡単な食事処があり、お母さん達による手作りメニューをその場でいただくことができる。

★おすすめ人気商品★



- ながら藻 200円(500g)
- だんご/コーヒー 100円(1本)/100円(1杯)
- たけのこ水煮 左380円、右260円

朝一から並ぶお客さんが多く、すぐに品切れになるという大人気商品。一年生海藻で、酢の物やみそ汁に入れて、白いご飯にかけて食べても美味。

餅粉100%使用のお団子は、直売所だからこそ食べられる贅沢な味。甘さ控えめで、もちもちの食感にハマる人続出。テイクアウトもできる。

掘り採ったタケノコを12時間以内の新鮮なうちに水煮するため、やわらかくアクがないのが特徴。今どき貴重な地産産のたけのこ加工品だ。

店舗データ
所/氷見市阿尾514-3番地
Tel/0766-74-6604
営/月~金曜8:00~12:30、土・日曜・祝日8:00~17:00
休/無

村の駅 農産物直売所 菜っちゃん 太閤山店



住宅街にあり、住民がスーパーマーケットのように利用するという『菜っちゃん』。毎日新鮮な朝採り野菜がたくさん届き、お母さん達を作る地元の米粉ケーキや有機卵プリンなどのスイーツも充実している。

★おすすめ人気商品★



- いちご 章姫 550円
- 小松菜 120円
- みそ 各450円(1kg)

JA果菜グループが丹精こめて作った「章姫(あきひめ)」。粒が大きく甘味は濃く、香りも強いのが特徴。4月下旬まで楽しめる。

県西部ではもっとも多く小松菜を生産している射水地区。通年栽培されていて、その日に収穫されたみずみずしい小松菜が毎朝届く。

塩分控えめで添加物を使用していない味噌と、自家生産の大豆と米麴を使った味噌の2種類を販売。どちらも美味しいので食べ比べてみては？

店舗データ
所/射水市黒河4728-5 JAIみず野太閤山支店横
Tel/0766-56-3272
営/9:00~16:30
休/年末年始のみ



おやき

中に自家産食材がたっぷり入ったおやきは、地元ならではの味。
1個 130円

●生産者 コスモグループ(砺波市)
●販売場所 せんだん山特産の店、コスモウォッチングのイベントにて販売



米粉入りりんごケーキ

米粉でしっとり仕上げた生地、自家農園のりんごを合わせたケーキ。
1個 140円

●生産者 (農)松永うの花農園加工部(小矢部市)
●販売場所 松永うの花農園直売所、道の駅メルヘンおやべ



ブルーベリー茶

お湯で溶かして飲む果実茶。自家産ブルーベリーで作られている。
1瓶 790円

●生産者 いなかふれさか(氷見市)
●販売場所 いなかふれさか「風楽里」、JAグリーンひみ



田舎パン

自然素材にこだわった手作りパン。米粉パンも人気を集めている。
1個 130円~

●生産者 ふるさとの味加工組合(南砺市)
●販売場所 ヨツテカール城端、道の駅福光、地元スーパー



四季の切り餅

天然の地場食材を使用し、四季毎の色と味を表現した切り餅。
1パック 300円~

●生産者 さと味工房(射水市)
●販売場所 イータウン大島店



稲積娘

地元特産の「稲積梅」を使った梅羊羹。程よい酸味と甘みが口の中に広がる。
1個 180円

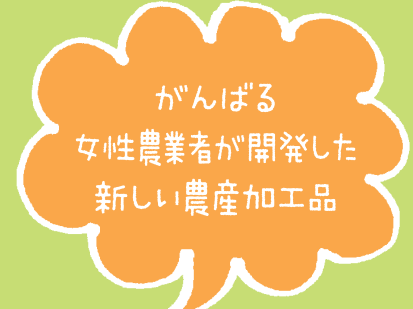
●生産者 稲積好梅サークル(氷見市)
●販売場所 大和高岡店、JAグリーンひみ、おらっちゃんの店、イータウン大島店



耕の豆腐

自家栽培の大豆と、豊富な地下水を利用した自家製豆腐。(木綿・絹ごし)
1パック 110円~

●生産者 (有)耕 加工部(小矢部市)
●販売場所 耕 直売所、道の駅メルヘンおやべ



県ではがんばる農村女性の起業活動を応援するため「がんばる女性起業発展支援事業」を実施しています。その事業を活用して誕生した新たな農産加工品をご紹介します。

とやまの農山漁村の魅力を満喫してみませんか？

富山県では、農山漁村の素晴らしさや大切さを知っていただくために、都市住民との交流活動を行う農山漁村地域を重点地域として指定し、その活動を支援しています。

平成22年度までに県内で36地域が重点地域に指定され、それぞれの地域の特色を活かした様々な活動を展開しています。

自然豊かな農山漁村を舞台に、自分で農作物を育て収穫する喜び、農村文化の体験など、普通の観光では味わえない農山漁村の魅力を満喫してみませんか？

富山市細入地域

天湖森しんゆう倶楽部が、「割山森林公園天湖森」を拠点に、森林資源を活用し、間伐材による屋作り、干し柿づくり体験、竹炭づくり体験などの「森の恵みに感謝する会」や「フェスタin天湖森」を実施しています。



氷見市細越地域

小規模集落である細越、大覚口両集落が連携し、仏生寺ハトムギ連絡協議会を設立、地域の特産であるハトムギを活用して、ハトムギオーナー制度や小学校と連携した農業体験などを実施しています。



高岡市国吉地域

里山活性化協議会が、里山の役割や意義についての理解を深めるために、「高岡市里山交流センター」を拠点として、都市住民を対象に里山の地域資源(間伐材、竹、たけのこ等)を活用した様々なものづくりなどの様々な体験を実施しています。



射水市堀岡北部地域

堀岡北部地域交流活性化協議会が、漁業や漁業資源の重要性について理解を深めてもらうために、市内の小学生やその保護者を対象に、養殖稚魚の放流等の漁業体験や魚類の生態や養殖漁業についての学習等を実施しています。



とやま帰農塾2011年度参加者募集!

富山の里山には、自然の恵みや先人の知恵がいっぱいです。田舎暮らしで、日々の生活とは一味違う豊かな時を過ごしませんか？

- 5月20日(金)～22日(日) 八代塾春講座 森林環境活動の後の一番風呂
 - 5月27日(金)～29日(日) 黒部塾 黒部の名水をさぐってみよう
 - 6月10日(金)～12日(日) 五箇山塾 古の山村生活を味わおう
 - 6月17日(金)～19日(日) びるだん塾 先人の知恵を科学で解明
 - 7月29日(金)～31日(日) 山田村塾 じゃがいも掘りに汗を流そう
- ※ 9月からも、順次開講予定です。

各塾2泊3日の講座、定員10名程度、参加費13,000円

申込: 交流地域活性化センター(NPO法人グリーンツーリズムとやま)
TEL・FAX 076-482-3161 <http://www.gt-toyama.net>
問合せ: 富山県農林水産部農村振興課 TEL076-444-9011

とやま帰農塾2011

団塊世代や若者世代など、農村地域への定住や二地域居住(半定住)、就農へのきっかけづくりとして、県内各地で「とやま帰農塾」を開講しています。

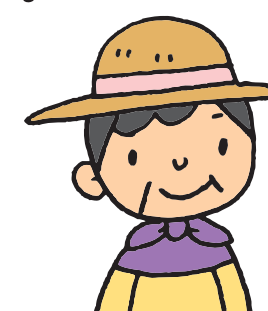
氷見市八代



朝日町びるだん・大家庄



またいつでもこれ～



お世話になりました!



南砺市五箇山・井波



富山市大長谷



魚津市松倉



詳しい都市農山漁村交流活動の情報はこちら

「とやまG・Tナビゲーター」 <http://www.pref.toyama.jp/sections/1605/toyamagt/top.html>

「平成22年とやま帰農塾」の取り組み



円筒分水槽による

農業用水の安定供給

江戸時代の用水事情

上市川の沿岸域では、豪雨時に水害で川の流れが変わり、また、夏期には深刻な水不足に悩まされて、水争いが絶えなかった。江戸時代初期には、極楽寺付近から湯上野、稗田、正印、川原田から白岩川に合流するものと、北島、上市、郷柿沢、森尻新から郷川に合流する二つの流れる道筋があり、洪水のたびに本流が左右に変わっていったという。

度重なる大洪水によって郷川に合流する流れが主流になり、このとき、10村役を務める正印村次郎兵衛によって、極楽寺と北島に二重の堤防を築き、白岩川に流れ込む道筋を締め切り、現在の流れの道筋が確定した。これにより、これまで上市川から水

を取り入れていた水路の切り替えや、用水区域の変更が行われ、上市川筋用水から水を取り入れている村々によって28ヶ用水組合ができ、水利権と用水管理が定まったと思われる。

28ヶ用水では、用水の取り入れ分水などの管理については、水を請ける村を組として、村肝煎や組合頭などから選ばれた江肝煎によって採決された。明和8年(江戸時代中期)ひでりで長い間雨が降らない日が続く、上市川の水量が大幅に減ったことから、番水制が定められた。

この制度は、通常は各村単位で輪番でかんがい用水を流し、渇水時には各用水ごとに、調整するものであった。さらに水量が減少した場合には、28ヶ村が協議して、それぞれの地区

が、順番で限られた時間だけかんがいする方法がとられた。また、取水口には、水下の村と違う村とが立ち会うことが定められており、水争いが激しかったことをうかがわせる。

円筒分水槽の造成と特徴

この様に、水不足と水争いに悩まされてきたことから、昭和26年分水の為に水利組合が組織され、8ヶ年を費やして農業水利施設(円筒分水槽)を完成した。

この事業は、用水路の改修を目的とし、上市川上流の釈泉寺に頭首工を設け、共通幹線水路を経て円筒分水槽で右岸及び左岸幹線水路へ分水するものである。(分水比右岸49%左岸51%)

この円筒分水槽の特徴は、

- ・中央の円筒の立ち上がり部を半径3mに拡大しサイフォン管から中央の円筒へ転向する際に発生する水の溢流を防止している。
- ・溢流円筒の溢流頂は鋼板で保護している。

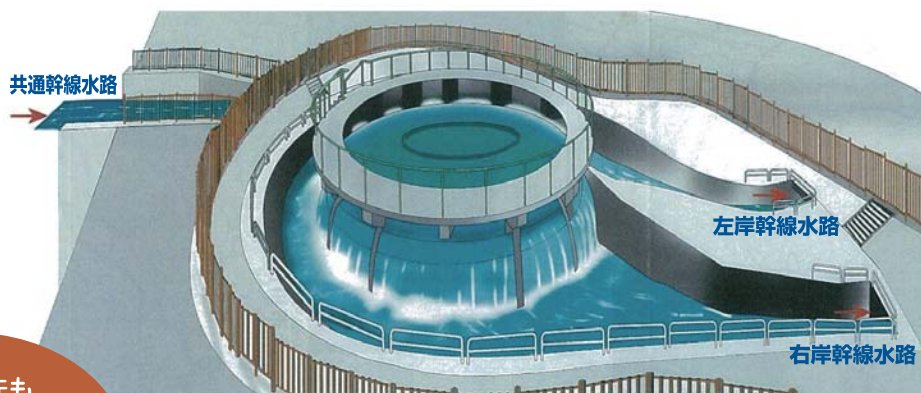
このことより上流からの水量の変化に影響されることなく、公平に用水



▲「県営上市川沿岸用水改良事業」(昭和24年8月)上市川流域は県内有効の干ばつ地帯として知られ、水争いは円筒分水場が完成するまで続いたといわれる。

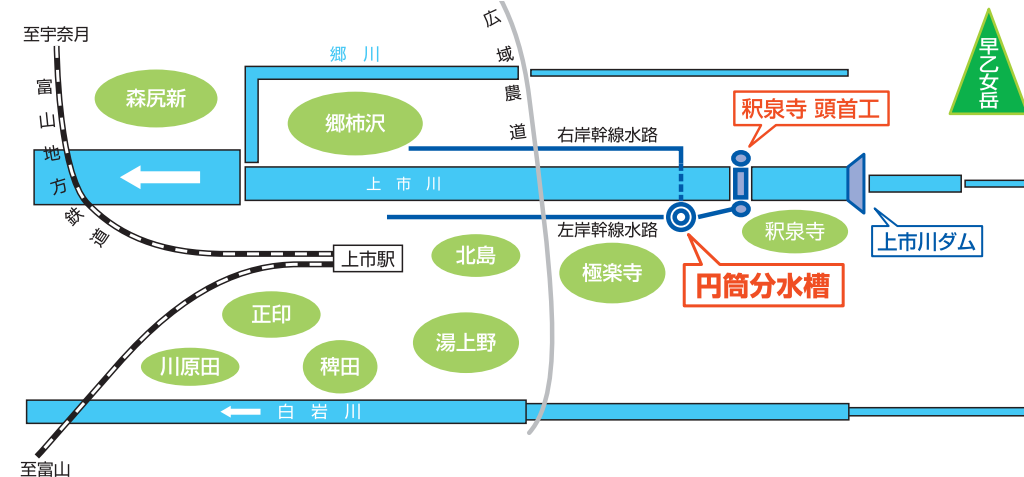
この円筒分水方式は、富山県では数少ない工法であり、施工後50年以上経過した現在でも、なら支障なく安定した用水の供給に貢献している。先人の卓越した技術と熱意の中で誕生したこの施設は、迫力があり、水の流れがとても美しいことなどから、平成18年4月に「とよまの名水」に、また平成22年3月には「とよまの近代歴史遺産百選」に選定される等、永久に保存されなければならない農業水利施設である。

円筒分水槽の構造



県営かんがい排水事業 上市川沿岸地区	
事業年度	昭和26年度～34年度
総事業費	150,035千円
受益面積	542ヘクタール
頭首工	1ヶ所
用水路	7045.62m
円筒分水槽	
直径9.3mの同心溢流円筒型槽により、水を右岸幹線水路・左岸幹線水路の2用水路へ配分する。	

上市川沿岸用水の地域概要図



◀円筒分水槽全景



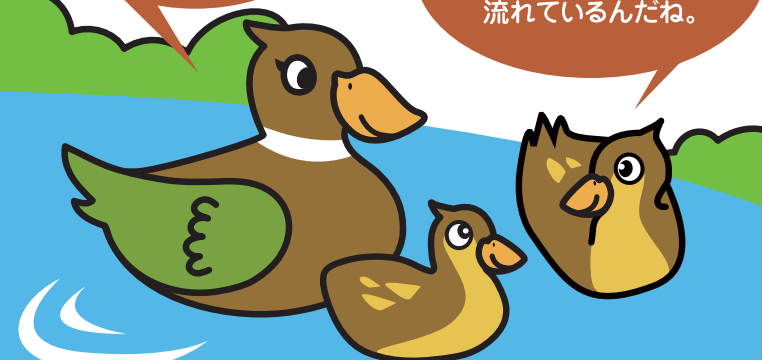
[上市町釈泉寺]

土地改良広辞苑

- ・**肝煎**：双方の間を取りもつて心を砕き世話を焼くこと。また、その人。
- ・**輪番**：大勢の人が、順を決めて交替で事に当たること。まわりもち。まわり番。
- ・**サイフォン**：大気圧を利用して、液体をその液面のはじめの位置より高い所へ持ち上げた後に低い所に移す、曲がった管のこと。

昔の人々のおかげで、今こんなにきれいな水が流れているんだね。

これから先も、ずっと守り続けていく必要のある大切な施設なのよ。



第7回とやまの棚田写真展 開催報告

県は、(社)富山県農林水産公社・とやま棚田ネットワークとの共催により、棚田保全の啓発活動の一環として、「とやまの棚田写真展」を開催しました。第7回にあたる今回は、県内外87名の応募者から185点の作品が寄せられ、受賞作品を含め全応募作品を、平成23年2月14～16日に富山県民会館で展示しました。受賞作品などは以下のURLでご覧になれます。
<http://www.taff.or.jp/tanada/tanada.htm>

■富山県知事賞 金賞



「晩秋の訪問者」福田 隆 (撮影場所) 砺波市庄川町湯谷

■銀賞



「初冬の棚田」永原 恵智子 (撮影場所) 上市町東種



「緑の詩が聞こえます」富田 栄人 (撮影場所) 富山市山田今山田

■銅賞



「黄昏」深井 孝夫 (撮影場所) 滑川市東福寺野



「海と棚田をつなぐ霧の川」上野 攻守 (撮影場所) 水見市坪地



「田植の頃」今藤 正昭 (撮影場所) 水見市吉池

農業水利施設を動画で紹介する
 ホームページ「富山の大地を潤す」公開中!!

富山県農村振興課では、ふるさとの先人達が農作物、農地等を水害や渇水から守り、安全・安心に暮らせる地域をつくるために、水と闘いながら多大な労力と費用をかけて整備してきた、農業水利施設を動画で紹介するホームページ「富山の大地を潤す」を公開しています。

●ホームページの内容

ダム、頭首工、排水機場など県内の主要な農業水利施設29施設を河川の水系ごとに13本の動画にまとめ、施設の歴史や役割を紹介するテロップを付けて、動画サイト「YouTube」上で紹介しています。

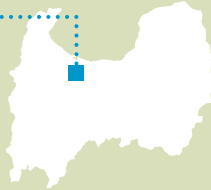
●ホームページのURL

<http://www.pref.toyama.jp/sections/1605/index.html>
 ※富山県庁HPの「富山の魅力・観光」コーナー、富山県映像センターの「リンク集」からもご覧いただけます。

地域づくりレポート

みなみ たか ぎ

射水市 南高木



営農組合で
 「耕作放棄地緊急対策事業」を取り組み
 農地の再生を図りました

●南高木地区は、射水平野の中央、庄川右岸に位置する旧大島町の北西部にある集落です。旧大島町は集落営農の組織化が進んでおり、南高木地区も営農組合によって耕作されています。



●しかし、地区内に10数年間耕作されていない田んぼが一枚だけ存在していました。その周辺の農地は害虫の繁殖や雑草の進入に悩まされ、たびたび地権者に申し入れを行っていましたが、復旧費用等の問題から解決に至っていませんでした。



●この問題の解決のきっかけとなったのは、国が進める「耕作放棄地緊急対策事業」です。この事業で耕作放棄地解消に係る費用の問題が軽減でき所有者及び営農組合を説得できると判断しました。

●複雑な経緯があって耕作放棄地となっていたのですが、復旧にかかる費用の負担がないことと、復旧後の耕作を営農組合が行うことが決め手となり、地権者の同意をいただくことができました。

●平成22年度は農地の復旧再生作業に専念しましたので、来年度はいよいよ作付です。作物については、いろいろ迷いましたが「ジャンボかぼちゃ」を作付する予定です。地域のお祭り等に提供し話題づくりの一助になればと考えています。

●最後になりますが、あと数年は雑草に悩まされそうです。一度荒れた農地の復元は大変な作業となりますので、耕作の継続の大切さを地域の農家等に伝えていきたいと思っています。

大島北部営農組合 組合長 横山 實

本誌に関するご要望、ご意見等をお寄せください。住所、氏名、年齢、職業のご記入をお忘れなく。個人情報については、内容確認以外に使用いたしません。

本誌の内容が富山県HPでもご覧になれます。

ふるさと夢とやま

検索